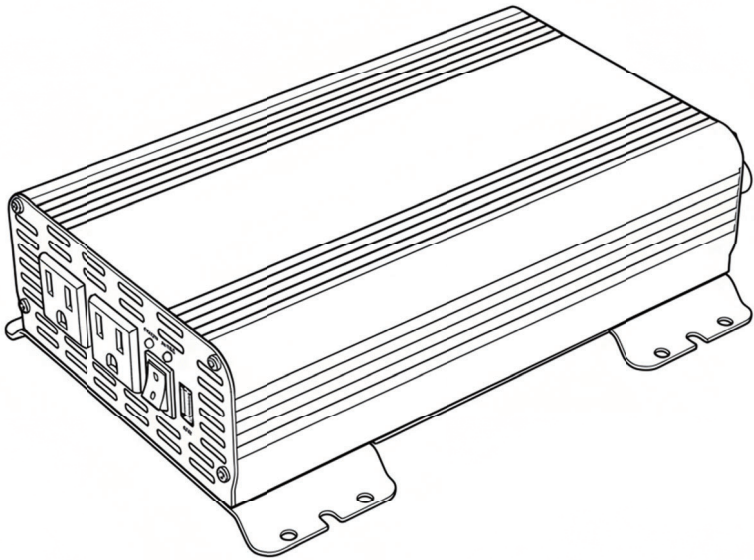


この度は、日動工業の『正弦波インバーター』をお買い上げいただき、厚くお礼申し上げます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、本製品の内容と性能を十分にご理解の上で、  
適切な取扱いと保守を行ってください。  
また、取扱説明書はいつでも取出せるよう大切に保管してください。

## 正弦波インバーター (DC24V専用)



MODEL: **R-L650-B**

## 目次

次のような機器は絶対にご使用にならないでください。	1
次のような機器には注意が必要です。	1
安全のための注意喚起【警告】と【注意】	1
各部名称・サイズ	3
仕様	3
使用方法	4
接続時の注意	4
使用上の注意	5



### 警告 次のような機器には絶対にご使用にならないでください。

- すべての医療機器や、使用上、生命に関わるような機器。
- 社会的、公共的に重要な機器。
- 重要な事業用機器。

上記3項目に該当または準ずる機器、装置などについてはシステムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用・維持管理について特別な配慮が必要となります。これらの機器に使用した場合の損害などについては弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。



### 注意 次のような機器には注意が必要です。

- ※AC機器の中には、冷蔵庫やクーラー、蛍光灯のように、表示電力値の数倍（機器によっては10倍以上）の初期負荷電力を必要とするものがあり、電力不足により、作動しない機器もあります。  
使用するAC機器の特性に注意して、使用してください。
- ※モーターを使用したAC機器（冷蔵庫、扇風機）などに、定格表示している消費電力は、モーターが安定して回転しているときの消費電力であり、起動時には5～10倍の電力を必要とします。

## 安全のための注意喚起

記載内容の注意事項は、想定される危害や損害を注意喚起シンボルで警告表示しています。  
本製品を正しくご使用いただき、使用者および周囲の人々への危害、損害を未然に防止するためのものです。  
誤った取扱いや不適切な設置をすると重大な事故や致命傷になるような事態もありますので「安全のための注意喚起」・「警告」・「注意」を必ず、お読みいただき細心の注意をはらって正しくお使いください。

- 取扱いを誤った場合に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

<b>警告</b>	取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。	<b>禁止</b>	してはいけないこと。
<b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、人が軽傷を負うおそれ、あるいは物的損害が発生するおそれがある内容を示します。	<b>強制</b>	しなければならないこと。

- 注意喚起シンボルは一般的な場合を示しています。

## お客さまへ

- ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- 取扱説明書は必ず保管し、使用・清掃時にも安全のために再度ご確認ください。

### 警告



- 絶対に分解や、改造をしない  
感電や故障、ショートによる火災の原因となります。



- 燃えやすいものや、熱で変形しやすいものは置かない。  
火災、やけどの原因となります。可燃物の周辺で使用しないでください。火災の原因となります。



- 水をつけたり、水を掛けたり、濡れた手でコードや使用機器の抜き差しなどの操作をしない。  
感電するおそれがあります。

## ⚠ 警告



- ACコンセントに金属類を差込まない。感電、故障の原因となります。
- 子供・乳幼児には手を触れさせない。ケガや感電など、思わぬ事故の原因となります。
- バッテリー接続コードは、本書記載の場所以外へは絶対<sup>①</sup>に接続しない。火災の原因となります。
- 車両の運転中に接続や操作をしない。
- 本製品を車内で使用する場合、車両の運転中に接続や操作をしないでください。事故の原因となります。
- アイドリング状態で使用する場合、車庫など車が密閉状態になる場所で使用しない。排気ガスが充満する危険があります。換気に十分気をつけてください。
- 金属類や燃えやすい物など異物を差込まない。穴や隙間から、金属類や燃えやすい物など異物を差込まないでください。火災、感電の原因となります。また、本製品の故障の原因となります。



- 梱包用の袋は必ず本製品から取りはずす。本製品の放熱を妨げ、故障の原因となります。
- 使用する機器に表示された注意事項を必ず守って使用する。
- 使用中、異常動作や、発煙、異臭がする場合はただちに使用中止する。お買い上げの販売店または、当社に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本製品および接続機器の電源が切れている状態で、車のエンジンを始動する。本製品、接続機器の電源が切れている状態を確認し、エンジンを始動してください。エンジンを始動後、本製品の電源スイッチの操作を行ってから最後に接続機器の電源を入れてください。突然接続機器が動き出し事故の原因や本製品、接続機器の故障の原因となります。
- 必ず、DC24Vに接続する。DC24VをAC100Vに変換する変換器です。指定の電圧以外では絶対に使用しないでください。本製品や接続機器の故障の原因となります。
- 各コード類の破損や挟み込みに注意する。エンジン、排気管、過給器など高温になる箇所、冷却ファン、ファンベルトなど回転する箇所などと接触しないようにしてください。ショートなどによる火災、故障の原因となります。
- 本書に従い正しい取扱いで安全に使用する。事故を引き起こす原因となります。

## ⚠ 注意



- コードやプラグを破損しない。また、傷んだまま使用しない。火災・感電の原因になります。
- 各種ケーブルを束ねた状態で使用したり、引張って抜いたり、変形するような取扱いはしない。発熱・火災の原因になります。
- 使用環境温度をこえる場所では使用・保管はしない。火災・感電・短寿命の原因になります。
- 油分や薬品が浮遊する場所、高周波の発生する雰囲気では使用しない。内部部品などが劣化し、正常に動作しなくなったり、故障や破損の原因になります。
- 換気のできない、締め切った場所では使用しない。排熱口から温風が出るため、室内の温度が上がります。
- 荷重や重い荷物などでコードを踏まない。ショートするおそれがあります。踏まれる場所に設置される場合は、コードプロテクターなどを使用し、コードを保護してください。



- 各種ケーブルは確実に接続する。差込みが浅かったりグラついているとショート・火災・感電・故障などの原因になります。
- 使用しない時および使用後は、電源をOFFにして、各種ケーブルをすべてはずす。ショート・感電・火災の原因になります。
- 異常や故障が発生した際は、直ちに電源プラグを抜く。火災・感電のおそれがあります。



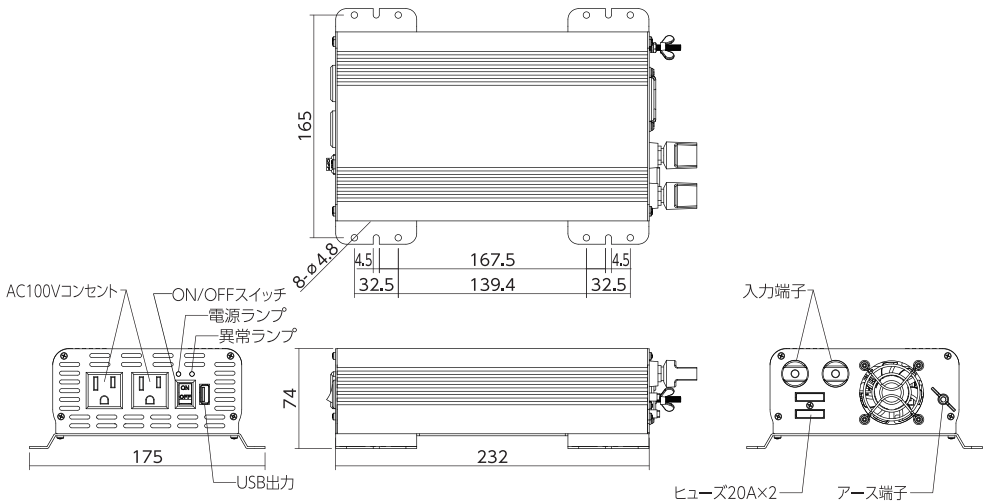
- 入力電線や延長コードは、必ず延ばした状態で使用する。巻いたままや束ねた状態で使用すると電線が発熱し劣化や火災の原因になります。
- 清掃やお手入れの際は、必ず電源を切り、各種ケーブルをはずしてから行う。感電・やけどの原因になります。
- 使用時は貴金属類(指輪・ネックレス・時計など)をはずす。故障・感電の原因になります。

### 保守上のご注意

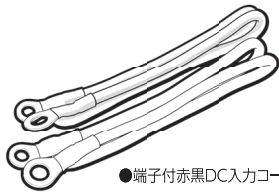
器具の点検・清掃時には安全のための注意喚起を再度ご確認ください。

- 器具の清掃について…汚れを落とす場合は、中性の洗剤を濃した柔らかい布をよくしぼって拭取り、洗剤が器具に残らないように乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものおよび酸・アルカリ性の洗剤などで拭いたり、直接殺虫剤をかけたたりしないでください。変質による器具の破損や変色の原因になります。

## 各部名称・サイズ



### 付属品



●端子付赤黒DC入力コード 1m



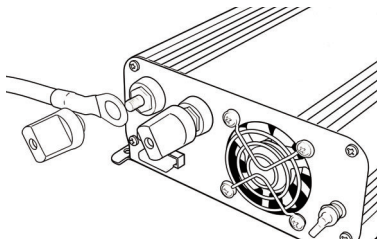
アース線 1m

## 仕様

型 式	R-L650-B
入 力 電 圧	DC24V
入力電圧範囲	DC22~30V
出 力 電 圧	AC100V
最 大 出 力	650W
定 格 出 力	600W
出力周波数	60Hz
出力波形	正弦波
U S B 出 力	5V 2.1A (MAX)
使用環境温度	-15℃~40℃
質 量	約1.7kg
保 護 機 能	入力過電圧保護／入力減電圧保護／過負荷保護／入力逆接続保護／温度異常保護

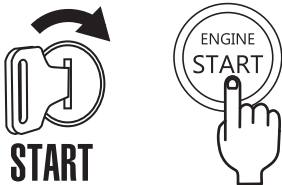
## 使用方法

「(P.5) 使用上の注意」の内容をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

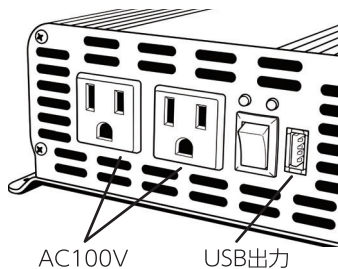


①電源スイッチがOFFになっていることを確認し、付属のDC入力コードの赤コードを背面の赤端子に、黒コードを黒端子に、それぞれ接続してください。(丸端子 10-6側)

②赤コードをバッテリー(+)に黒コードをバッテリー(-)に、それぞれ接続してください。  
※必ず接続するバッテリーの電圧が24Vか確かめてください。異電圧の接続は故障の原因となります。



③車両のエンジンを始動してください。



④使用する接続機器の電源プラグまたは、USBを本製品の出力コンセントまたは、USBに差し込み、本体前面の電源スイッチをONにし、緑ランプの点灯を確認してから、接続機器のスイッチをONにしてください。

⑤接続機器が正常に作動すれば接続完了です。

## 接続時の注意

- ◆DC入力コードをバッテリーの端子へ接続する場合、(+)(-) を絶対に間違えないでください。火災、故障の原因となります。
- ◆バッテリー端子以外の場所への接続は絶対に行わないでください。ショートなどによる火災、故障の原因となります。
- ◆車のエンジンなどの高温になる部分や冷却ファン、ファンベルトなどの回転する箇所に配線が触れないように十分に注意してください。火災、故障の原因となります。
- ◆本製品の周りや放熱ファンをふさがないように設置してください。火災、故障の原因となります。
- ◆バッテリー接続コードを無理に曲げたり、傷つけたり、加工しないでください。ショートなどによる火災、故障の原因となります。
- ◆DC入力接続コードの配線は、車両の金属部とこすれたりすることのないように注意してください。ショートなどによる火災、故障の原因となります。
- ◆DC入力接続コードが車両の可動部、ボンネットフードやドアなどに挟み込まれないように注意してください。ショートなどによる火災、故障の原因となります。
- ◆本製品の上に物を置いたり、周囲を困らせないでください。異常な発熱を起こしたり、故障の原因となります。

## 使用上の注意

- ◆定格出力が本製品の出力容量範囲内であっても、起動電力が特に大きい機器・家電製品には使用できない場合があります。
- ◆本製品はブレードヒューズ20Aを2枚使用しています。  
定格外のヒューズは使用できません。故障の原因になります。
- ◆ブザーが鳴り赤ランプが点灯した場合は保護回路が作動しています。  
必ず本製品の電源スイッチをOFFにして使用を中止し、完全に原因を取り除いた後、使用してください。  
また、再使用時は接続機器のプラグを抜き、無負荷の状態ですべて電源スイッチをONにし、緑ランプが点灯することを確認してください。
- ◆本製品は入力減電圧保護機能を有しておりますが、バッテリー容量をこえて過度に使用した場合、エンジン始動が困難になる場合がありますので注意してください。
- ◆エンジン停止時はバッテリーへの充電がありませんので使用しないでください。  
バッテリー上がりの原因となります。
- ◆バッテリー接続の際(+) (-)を逆接続し電源が入らなくなった場合は、本体背面にあるヒューズが切れています。本体背面のヒューズを新しいブレードヒューズ20Aと交換してください。
- ◆本製品および使用する機器の電源が入った状態で、車のエンジン始動は行わないでください。また接続機器の電源が入った状態で、本製品の電源スイッチの操作を行わないでください。本製品や接続機器の故障の原因となります。
- ◆AC100VとUSBを同時に使用する場合も含め、接続機器の最大および定格消費電力を必ずご確認ください。  
複数の機器をご使用になる場合は、最大消費電力の合計が本製品の最大出力容量以内、定格消費電力の合計が本製品の定格出力容量以内であることをご確認ください。
- ◆本製品はすべてのUSB機器に対応するものではありません。USB電源で電子タバコなどは充電ができない場合があります。充電の際は、電子タバコに付属されているAC100V充電アダプターを使用して充電してください。
- ◆定格出力以内で使用していても、使用環境により本製品が高温になる場合があります。異常ではありませんがご注意ください。

## 使用上の注意

- ◆使用しない場合は、必ず本製品の電源スイッチを「OFF」にしてください。  
また使用する機器のACプラグやUSB入力端子は本製品から抜いてください
- ◆本製品は携帯電話、オーディオ機器、映像機器にノイズが出る場合があります。
- ◆本製品はDC-DCコンバーター(電圧変換器)などとは併用できません。
- ◆本製品で使用できるUSB出力端子は「A・TYPE」です。またUSB出力端子には電源供給以外の機能はありません。USB接続によるデータの破損、損失については一切の責任を負いかねます。
- ◆本製品にはUSBハブを接続しないでください。
- ◆一部のアイドリングストップ装備車において、アイドリングストップの状態からエンジンが再始動した際、車両の電源電圧が一時的に低下し過ぎて、本機の電源がOFFになってしまう場合があります。これは車両側のシステム構造上の特徴であり、本機の異常ではありません。使用する機器、本機保護の為、アイドリングストップ機能をOFFにしてご使用頂くことをお勧め致します。詳しくは、車両の取扱説明書をご参照ください。

●製品改良のため、仕様などを予告なく変更することがあります。

---

〈発売元〉



- 本社 〒572-0076 大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22 TEL.072(803)6905(代) FAX.072(803)6908
- 札幌営業所 〒003-0822 札幌市白石区菊水元町二条2-3-1 TEL.011(871)0577(代) FAX.011(871)0579
- 東京営業所 〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-14 TEL.03(5683)4010(代) FAX.03(5683)4021
- 名古屋営業所 〒454-0848 名古屋市中川区松ノ木町1-32-2 TEL.052(351)3666(代) FAX.052(352)7558
- 大阪営業所 〒572-0076 大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22 TEL.072(803)6905(代) FAX.072(803)6908
- 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-17-32 TEL.092(474)7955(代) FAX.092(474)6329